

「医療的ケアを必要とする障がい児・者の基本情報シート」について

平成30年8月 長野市障害ふくしネット医療的ケア支援委員会



長野市障害ふくしネット 医療的ケア支援委員会では、在宅で暮らす医療的ケアが必要な方の、医療面での情報をまとめる「基本情報シート」を作成しました。(H28年2月作成)

1. シートの目的

医療的ケアが必要な方が、福祉サービスを利用する際などに、福祉事業所に医療面の情報をまとめて伝えるための情報提供書です。出生時の様子やこれまでの簡単な経過等の基本的な情報を中心とし、支援の状況やケアについてはおおまかな情報となっています。より詳しいことは、基本情報シートをもとに、各事業所等で聞き取りを行うこととなります。

2. シートの活用方法

シートを活用するタイミング	活用するための流れ	備考
(1) 福祉サービスを利用する時の情報提供	ご家族の話を聞きながら相談支援専門員がシートを作成します。ご家族の同意を得た上で、事業所（児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護等）への紹介時や見学時に事業所職員へ渡します。	ケアプランシート（フェイスシートやアセスメントシート）に添付することで、他の情報とも一緒になり、より重層的な情報提供になります。
(2) すでに福祉事業所を利用している人は、サービス更新時に作成	福祉サービスの更新手続きの時に、ご家族の話を聞きながら相談支援専門員がシートを作成します。すでに利用している事業所にも渡すことで、現状の共有ができます。また、新たな事業所を追加で利用する際には、ご家族の同意をもらって、相談支援専門員から、事業所（児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護等）への紹介時や見学時に事業所職員へ渡します。	

☆ 病院を退院される時に記入していただくと、お子さんの状況の整理ができ、退院後、ご家族が相談をされる時などに役立てることができます。また、新たな医療機関を受診する時や、保育園や幼稚園への入園時、学校への就学時など、必要に応じて活用していただいても結構です。このシートを持っていくことで、ご家族が何度も同じことを説明したり、聞き取りを受けることの負担軽減につながることを期待しています。

3. 活用の注意点

- ・事業所へのつなぎ（情報提供書）としての役割を果たすことを、ご家族に説明をしてから作成し、事業所へ情報提供することの同意（署名）をいただきます。
- ・署名をいただいた原本は相談支援専門員が保管し、コピーしたものをご家族、事業所に渡します。
- ・福祉サービスの更新手続きの時に、合わせて内容の見直しを行い、ご家族、関係機関と情報の共有を行います。個人情報の取り扱いに注意し、データは相談支援専門員が管理しておく、情報を更新する際に役立ちます。（ご家族に管理していただいても結構です）

4. シートのダウンロード

「長野市障害ふくしネット」のホームページからダウンロードしてください。(H28.4～ 利用可能)